

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 15030010

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17	消防・救急・防災体制の強化	事 業 優 先 度		B	
単位施策	2	消防・救急体制の充実	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	消防資機材整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	15	消防支署	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	消防資機材整備数				#N/A	
事業目標	資機材整備数11		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	消防組織法、消防力の整備指針	
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	・消防資機材の整備、充実 老朽化又は不足している消防資機材の充実を図る。	救急資器材保守点検 小型ポンプ式購入	救急資器材保守点検 消防ホース更新 軽量空気ボンベ購入 救急資器材購入	救急資器材保守点検 軽量空気ボンベ購入	救急資器材保守点検 消防ホース更新	救急資器材保守点検	
	事業費(千円)	6,210	2,870	1,700	470	920	250
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	2,100	2,100				
	その他	0					
一般財源	4,110	770	1,700	470	920	250	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,330	2,750	1,580	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	2,000	2,000				
その他	0						
一般財源	2,330	750	1,580				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	過疎債	【 評 価 ・ 実 績 】	救急資器材保守点検 小型ポンプ式購入	救急資器材保守点検 消防ホース更新 軽量空気ボンベ購入 救急資器材購入			
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
			A-継続／現状維持	A-継続／現状維持			
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	資機材整備2	資機材整備4	資機材整備2	資機材整備2
			年度達成率	96%	93%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)		全体達成率	44%	70%	70%	70%
	備考欄						

事業名	消防資機材整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	嶋村 猛

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防資機材の整備・充実	
抱える課題やニーズ	現在の災害は年々複雑かつ多様化してきており、これに対応するためには消防資機材の更新及び保守点検や新規購入を実施していく必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	現在、消防で保有している消防用資機材は老朽化又は不足しているため、災害現場において活動に支障をきたすことがないよう、より効果的な資機材の充実を目指した。	① 救急資器材保守点検 消防ホース更新 軽量空気ボンベ購入 救急資器材購入	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	消防の任務は町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであるため、迅速かつ適切な消防活動ができるようにする。		目標値	4箇所
内容(どのような手段で何をを行ったか)	選定会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。	実績値	4箇所
	消防資機材購入 他		達成度	100.0%
			救急資器材保守点検、消防ホース更新、軽量空気ボンベ購入、救急資器材購入	目標年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	国が定める消防力の整備指針に従い、これに対応する消防資機材を常に確保(整備・点検)しておく必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		高度化する消火、救助及び救急活動に十分対応する資機材を確保できた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		災害現場での活動が容易になる。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		消防資機材整備事業は、その資機材を使用して町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守るための事業であることから公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
この事業は消防力の水準を高めるため、適切に整備していく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 15030020

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17	消防・救急・防災体制の強化	事 業 優 先 度		B	
単位施策	2	消防・救急体制の充実	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	消防施設整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	15	消防支署	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	消防施設整備数				#N/A	
事業目標	施設整備数18		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	消防組織法、消防力の整備指針	
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画		平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	・消防施設の適正な維持管理	消防ポンプ保守点検	消防ポンプ保守点検	消防ポンプ保守点検	消防ポンプ保守点検	消防ポンプ保守点検
	消防施設を維持管理し、防災拠点としての機能を充実させる。	消防庁舎他車庫シャッター保守点検 第1分団3部車庫改修工事 魚田地区防火水槽上部改修工事	消防庁舎他車庫シャッター保守点検 デジタル無線機器バッテリー交換 消防庁舎シャッター改修工事	消防庁舎他車庫シャッター保守点検 消防庁舎シャッター改修工事 消防庁舎車庫拡張工事 消防庁舎ポーチ階段改修工事	消防庁舎他車庫シャッター保守点検 デジタル無線機器バッテリー交換 消防庁舎シャッター改修工事	消防庁舎他車庫シャッター保守点検
計 画 事 業 費	事業費(千円)	30,700	6,600	7,700	10,200	400
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	9,800			9,800		
一般財源	20,900	6,600	7,700	400	5,800	400
実 績 事 業 費	事業費(千円)	13,550	6,310	7,240	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	13,550	6,310	7,240			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	公共施設整備基金繰入金		消防ポンプ保守点検	消防ポンプ保守点検		
			消防庁舎他車庫シャッター保守点検	消防庁舎他車庫シャッター保守点検		
			第1分団3部車庫改修工事	デジタル無線機器バッテリー交換		
			魚田地区防火水槽上部改修工事	消防庁舎シャッター改修工事		
		【評価・実績】				
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
		A-継続/現状維持	A-継続/現状維持			
第5期計画からの継続	年度目標値	施設整備4	施設整備4	施設整備4	施設整備4	施設整備2
(継続有り)	年度達成率			0%	0%	0%
		96%	94%			
後期計画への継続	全体達成率			44%	44%	44%
(継続有り)	備考欄					

事業名	消防施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	嶋村 猛

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防施設の適正な維持管理	
抱える課題やニーズ	消防施設の老朽化等	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	消防施設を維持管理、整備及び更新することにより、防災拠点としての機能を充実させる。	① 消防ポンプ保守点検 消防庁舎他車庫シャッター保守点検 デジタル無線機器バッテリー交換 消防庁舎シャッター改修工事	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	消防業務が総合的に強化され、充実することにより、町民の安全・安心が保たれる。		目標値	4箇所
内容(どのような手段で何をを行ったか)	消防ポンプ保守点検 消防庁舎他車庫シャッター保守点検	②	実績値	4箇所
	デジタル無線機器バッテリー交換 消防庁舎シャッター改修工事		達成度	100.0%
			目標年度	令和元年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	防災拠点としての消防施設及び機能は正常な状態に維持管理されなければならないため、施設の整備は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	消防施設の機能が適正に維持管理されることにより、消防力が維持され、消防業務を円滑に行える状態が保たれている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	適切な積算に基づき、可能な限りコスト削減に努め、事業を行った。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民の生命、身体及び財産を守る拠点施設等の整備であり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消防施設整備は計画通り進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も消防施設の整備・更新は必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止